RoomMatch® Utility

小型フォアグラウンド/フィルスピーカー

設置と安全上のガイドライン

BOSE PROFESSIONAL

pro.Bose.com

本製品は専門の施工業者による設置のみを対象としています。本書は、一般的な固定設置システムにおける Bose RoomMatch® Utility スピーカーを対象に、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供いたします。設置を開始する前に、本書をお読みください。

警告：全てのボーズ製品は、各地域、州、連邦、および業界の規制に従って使用する必要があります。各地域の建築に関する条例や規制など、適用される全ての法律に従ってスピーカーと設置システムを設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。

警告：重量物の危険な設置や天井吊り下げは、深刻な人身への危害および機器への損傷の原因となります。適用する設置方法の信頼性を評価することは、施工業者の責任です。適切な部品および安全な設置技術の知識を持つ専門の施工業者のみが、天井へのスピーカーの設置を行うことができます。

RoomMatch Utility スピーカーの常設固定設置のガイドライン

本書に記載された設置情報は一般的なガイドラインに過ぎないため、全ての要件および事前注意事項について言及されているわけではありません。従って、本書を使用する場合は、誰でも全ての法的責任を負うものとし、実際に適用される全てのスピーカーアレイ設計および設置配置の安全性に対して明示的に責任を負うものとします。

1. 天井スピーカーを設置する際には、事前に有資格の専門技術者が構造物への取り付けの位置と方法を承認し、建築に関する全ての条例と規制に従っていることを確認する必要があります。設置面と設置面に対するスピーカーシステムの設置方法が、システムの総質量に耐えられるだけの強度があることを確認してください。設置面とブラケットに、システムの質量の 10 倍以上の強度があることを目安にします。
2. 信頼できるメーカーの設置システム部品を使用してください。また、使用するスピーカーシステムとその用途に適した設置システムを選択してください。入手可能であれば、ボーズの設置アクセサリーを推奨します。カスタム設計の設置ハードウェアを使用する場合は、その設計と製造について、有資格の専門技術者による検査確認が必要です。
3. Bose RoomMatch Utility スピーカーは、専門の施工業者によるスピーカーの設置を簡単にするため、M8 埋め込みナットを複数装備しています。SAE 5/16"サイズのネジ類は使用しないでください。使用できるのは SI 規格のネジ類のみであり、SI 規格クラス 8.8（耐力規定済み）または同等のネジ類を使用してください。規格外（耐力規定済みでない）のネジ類は使用しないでください。
4. 組み立て後の耐振動性を確保するために、ロックワッシャーや取り外し可能なネジ緩み止め接着剤（LOCTITE® THREADLOCKER BLUE 242® など）を使用してください。
5. ネジ類の締め付けトルクは、15 フィートポンドから 20 フィートポンド（21 ニュートンメートルから 28 ニュートンメートル）です。ネジ類を過剰に締め付けると、キャビネットに修復不可能な損傷を与え、組み立て後の安全性を損なう恐れがあります。
6. 他のサイズや規格のネジに合わせるために、取り付けポイントの埋め込みナットを改造したり、ネジ切り加工したりしないでください。設置の安全性を損なうだけでなく、スピーカーに修復不可能な損傷を与える原因となります。
7. 落下防止ワイヤーを別途用意して使用してください。その際、設置システムとスピーカーの取り付けで使用していない荷重ポイントの埋め込みナットを使用して、落下防止ワイヤーを固定してください。各地域の規制によって要求されていない場合でも、落下防止ワイヤーの使用を推奨します。落下防止ワイヤーの正しい設計や設置については、有資格の専門技術者やリギングの専門家にご相談ください。

注意：設置したスピーカーには定期点検と日常保守を行い、正常な機能と安全な動作を確認してください。また、構造健全性に悪影響を与える可能性がある腐食やたわみなどが設置部品と取り付け部品に発生していないかどうか点検してください。劣化した部品や損傷した部品は直ちに交換してください。

注意：スピーカーや設置用アクセサリーを改造しないでください。不正な改造は、損傷、人身への傷害、死亡事故等の原因となる可能性があります。

注意:同梱の U ブラケットを使用して 2 台以上の RoomMatch Utility スピーカーを絶対に取り付けないでください。また、リアエンクロージャの M8 埋め込みナットを使用して 2 台以上の RoomMatch Utility スピーカーを同じ支持面に取り付けることも絶対におやめください。

注意：この製品は屋内でのみ使用できます。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

⚠ 警告

変なにおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、アンプの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは販売店に相談する
そのままの状態で使用すると、落下してけがや火災、感電の原因となります。販売店に点検、修理をご依頼ください。

●設置、保管するとき

⚠ 警告

総質量に耐える場所に取り付ける
取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。

設置場所の確認
スピーカーを取り付ける際には、人が通る場所や、容易に触れる場所に設置しないでください。スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない
腐食によりブラケットの強度が低下し、スピーカーの落下などの事故の原因となります。

本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない
内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。

スピーカーに対応した専用金具を使用
スピーカー取付けに金具を使用される場合は、スピーカーに対応した専用金具をご使用ください。対応外の金具や他社製の金具を使用すると、スピーカーの落下や破損の恐れがあります。

配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行う
配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線、取付を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。

適切なボルト、ナット類を使用する
取付ネジは、スピーカーおよびブラケットの重量を確認した上で天井、壁の材質にあったものを選んで取り付けを行ってください。強度が足りませんとスピーカーの落下により、けがや事故の原因となります。

ネジは確実に締める
締め付けが弱かったり、奥まで締めこんでいない場合は、落下してけがの原因となります。

落下防止ワイヤーを使用する
落下防止ワイヤーは指定された場所か落下時に耐えうるところ（スピーカー本体およびブラケットの総質量の 10 倍）に確実に取り付けてください。強度が足りませんと、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

スピーカーコードは安全な場所に這わせる
スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。

本体のカバーを外したり、分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

梱包袋は安全な場所に保管する
製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。

アンカーは必ず奥まで差し込む
アンカーは必ず奥まで差し込んでください。また、アンカー用の下穴のサイズが大きすぎるとアンカーが効かず、スピーカーが落下して、けがの原因となります。アンカー用の下穴の深さとサイズは必ず守ってください。

●設置、保管するとき

⚠ 注意

設置作業は専門業者へ
設置に関しては、専門の業者にご依頼ください。

2 人以上で取り扱う
移動したり持ち上げたり運んだりする場合は、2人以上で取り扱ってください。1人で行うと、体を痛めたり本機を落としてけがの原因となる事があります。

転倒 ・ 落下防止の処置をする
転倒 ・ 落下防止の処置をしないと、落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。

ごみ、落下物に注意
ブラケットとスピーカーの隙間に、ごみ、落下物などが入らないようにしてください。ブラケットにスピーカーの重量以上の力がかかり、落下などでけがや事故の原因となります。

高温の場所に置かない
窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置 ・ 保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。

ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない
ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。

けがに注意
スピーカーを高いところに設置される場合には、足下が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。

スピーカーコードを傷付けない
スピーカーコードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。コードが破損して、火災や故障の原因となることがあります。

表面を変質させる素材を使わない
アルコール、ベンジン、シンナー、あるいはスプレー式殺虫剤、消臭剤、芳香剤などの揮発性のものをかけないでください。外装の変質により、ブラケットが破損し、スピーカーの落下の原因となることがあります。

●使用するとき

⚠ 警告

機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない
引火して火災の原因となります。

大音量で長時間続けて聞かない
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンのご使用時にはご注意ください。

本機には磁気材料が含まれています

⚠ 注意

スピーカーにより掛かったり、ものをぶら下げたりしない
スピーカーを取り付けた後、スピーカーにより掛かったり、ものをぶら下げたりして重量を掛けますと転倒や落下などで、けがや事故の原因となります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

定期的な点検をする
定期的にスピーカーとブラケットの設置状態を点検し、設置の安全性が保たれているかどうか確認してください。またスピーカーケーブルの配線状態や、音割れ・歪みの有無、破損・欠損等の異常がないかどうか点検してください。異常がある状態で使用すると、故障や事故の原因となります。

配線時は電源プラグをコンセントから抜く
電源プラグをコンセントに差したまま行うと、感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

その他　注意事項

- この設置ガイドは、施工業者様用です。
- 建築基準法や地域の条例、安全基準などを考慮して、設置場所や取付方法を決めてください。
- 取り付ける場所の強度を確認してください。取付面とブラケットに、スピーカー本体とブラケットを含めた質量の 10 倍以上の強度があることを目安にします。

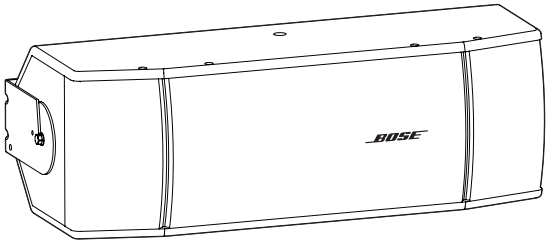
概要

RoomMatch® Utility（RMU）小型スピーカーは、高音質のフォアグラウンドミュージック、アンダーバルコニー、ゾーンフィル、およびボーカルレンジのフロアモニター用途での使用を意図しています。ボーズ EMB2 コンプレッションドライバーを 1 本搭載し、RoomMatch フルレンジアレイモジュールと同等の中高域再生を実現しています。

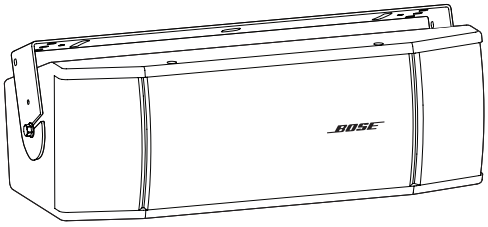
共通機能

- 天井吊りや壁掛け設置用に U ブラケットを同梱
- リアパネルの埋め込みナットがオプションのパン & チルトブラケットに対応
- 標準コネクターパネルをオプションの 40 ワットまたは 100 ワット 70V/100V トランスキットと交換可能

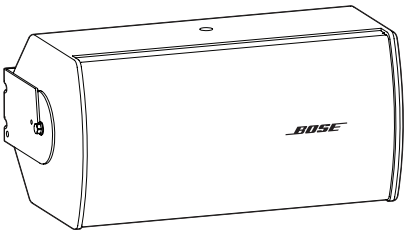
図 1. RoomMatch Utilityスピーカーと同梱のUブラケット



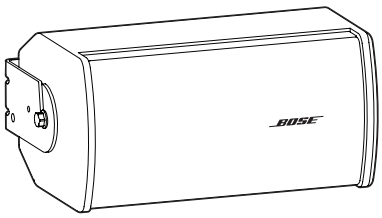
RMU208



RMU206



RMU108



RMU105

パーツリスト

各 RoomMatch Utility スピーカーの梱包箱には、以下の部品が同梱されています。

- RoomMatch Utility スピーカー
- U ブラケット
- M8 なべ小ネジおよびゴムワッシャー付きハードウェアキット
- T3 スクエアドライブ
- 設置ガイド

スピーカーと U ブラケットの寸法

図 2. RMU208スピーカーとUブラケットの寸法

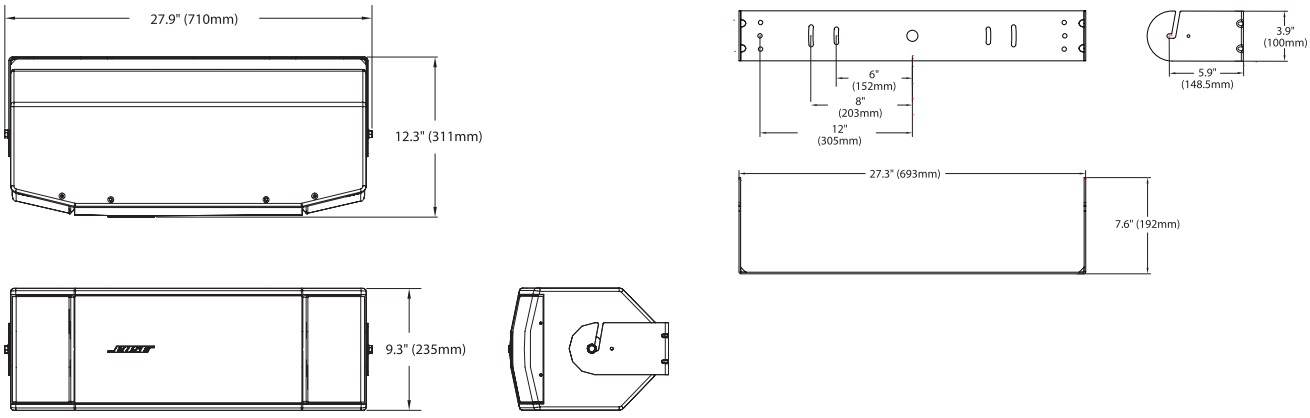


図 3. RMU206スピーカーとUブラケットの寸法

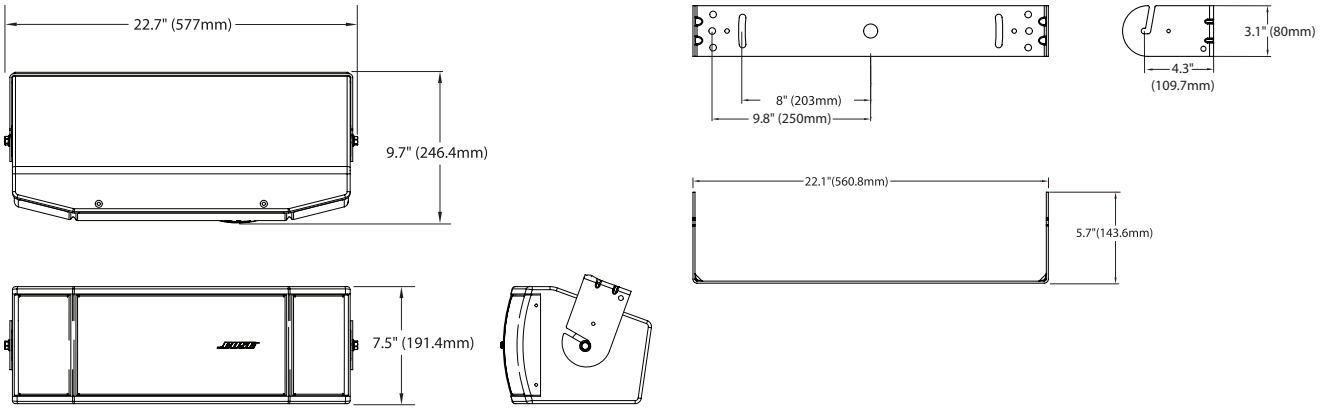


図 4. RMU108スピーカーとUブラケットの寸法

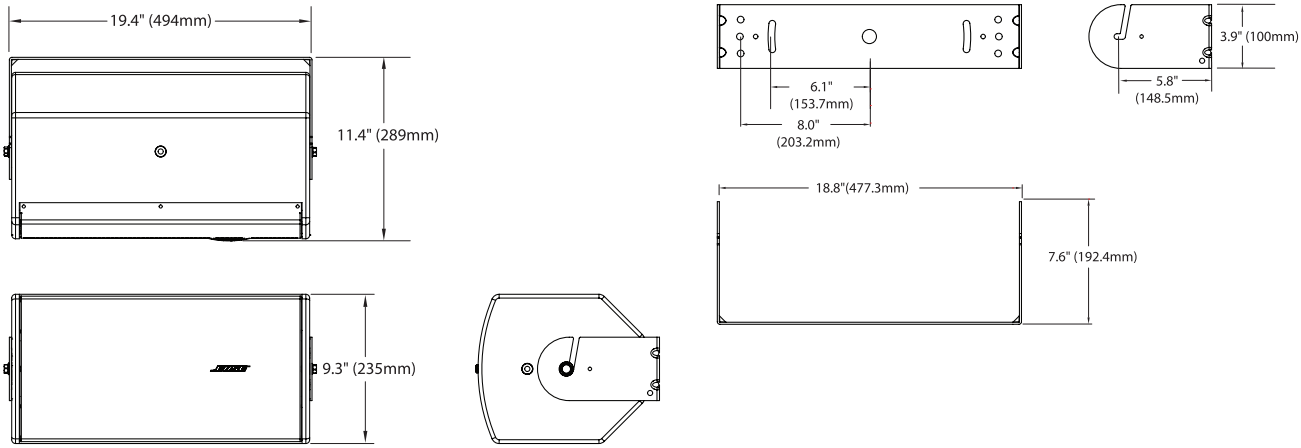
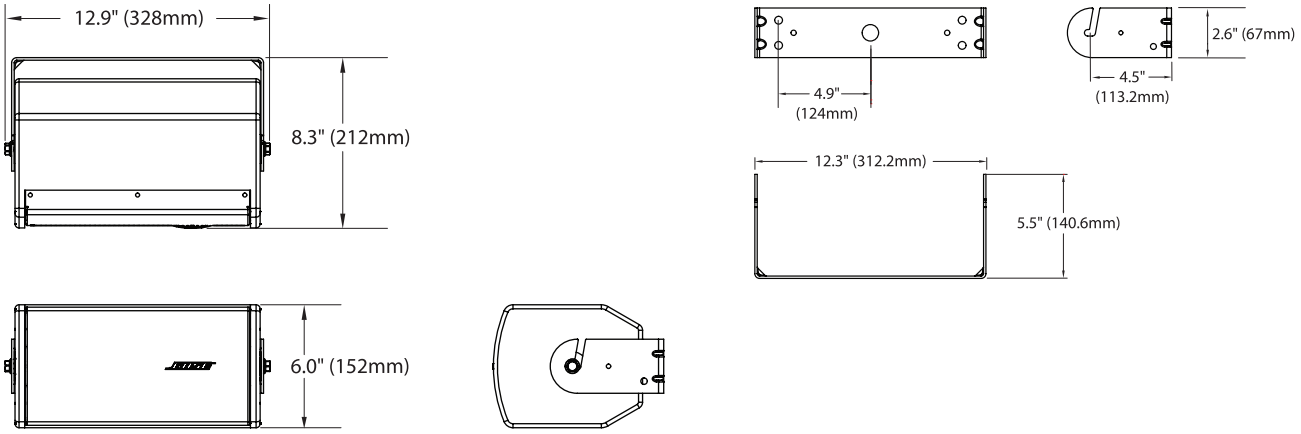


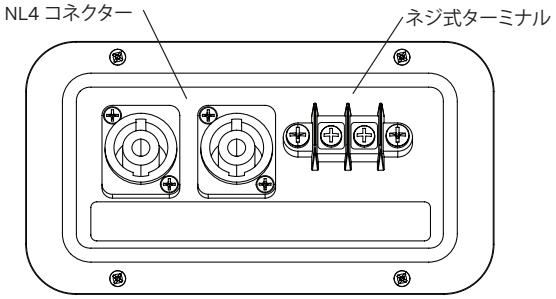
図 5. RMU105スピーカーとUブラケットの寸法



コネクターパネル

コネクターパネルは全てのモデルで同一です。ループスルー接続を可能にするデュアル NL4 コネクターと、ネジ式ターミナルが取り付けられています。

図 6. RMUスピーカー入力コネクター



Uブラケットを使用したRMUスピーカーの設置

始める前に – 推奨工具

- 10mm ソケットとソケットレンチ – U ブラケットへの M8 ボルト取り付け用
- T3 スクエアドライブ（同梱）– プラスチック製インサート取り外し用

注意： RMUスピーカーとUブラケットの合計重量は最大で43lbs（19.5kg）になります。持ち上げる際は、けがやスピーカーの損傷のないように注意してください。各モデルの具体的な重量については、以下の表をご参照ください。

表1：RMUスピーカーの質量

	RMU208	RMU206	RMU108	RMU105
質量	37lbs (16.8kg)	25lbs (11.3kg)	21lbs (9.5kg)	12lbs (5.4kg)
質量（Uブラケット付き）	43lbs (19.5kg)	29lbs (13.2kg)	26lbs (11.8kg)	15lbs (6.8kg)

注意： スピーカーグリル面を下にして置かないでください。

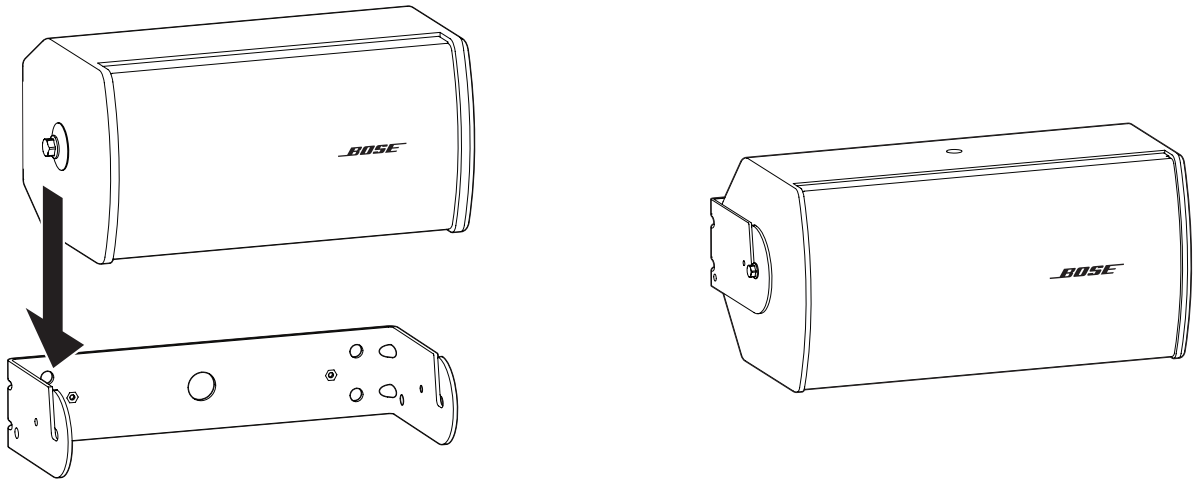
同梱の U ブラケットを使用して RMU スピーカーを取り付けるには、以下の手順に従います。

1. スピーカーの重量を安全に支持する設置位置を選びます。
2. 梱包材を取り除き、目標とする吊り下げポイントの真下の床面にスピーカーを置きます。
3. 同梱の T3 スクエアドライブを使用して、スピーカーの両端からプラスチック製のインサートを取り外します。

   注意： プラスチック製のインサートを付けたまま、スピーカーをUブラケットに取り付けないでください。
4. M8 ボルト 1 本とゴムワッシャーを、スピーカーの両端のネジ穴に挿入します。締め付けないでください。
5. U ブラケットを設置位置に位置決めし、穴の印を付けます。

   注意： Uブラケットを壁面に取り付ける場合は、スピーカーの荷重を支持できるよう、各地域の建築に関する規則や要件に適合するネジ類を使用してください（“表1：RMUスピーカーの質量”を参照）。一般的なガイドラインとしては、取り付け面が木の場合は5/16”×3”ラグスクリューを使用し、コンクリートおよび石積みの場合は5/16”-18二重拡張アンカーを使用します。
6. 設置面で先ほど印を付けた位置に、ドリルで穴を開けます。
7. 手順 3 で示した規定のネジ類を使用して、建物の壁面に U ブラケットを取り付けます。
8. スピーカーをブラケットに取り付けます。M8 ボルトを上から U ブラケットの溝に差し込み、U ブラケットとスピーカーエンクロージャの間にゴムワッシャーを固定します。図 7 をご参照ください。

図 7. Uブラケットにスピーカーを取り付ける



9. スピーカーを目的のピッチ角に位置決めします。
10. 10mm のソケット工具を使用して、2 本のボルトを締め付けトルク 15 フィートポンドから 20 フィートポンド（21 ニュートンメートルから 28 ニュートンメートル）以内で締め込みます。

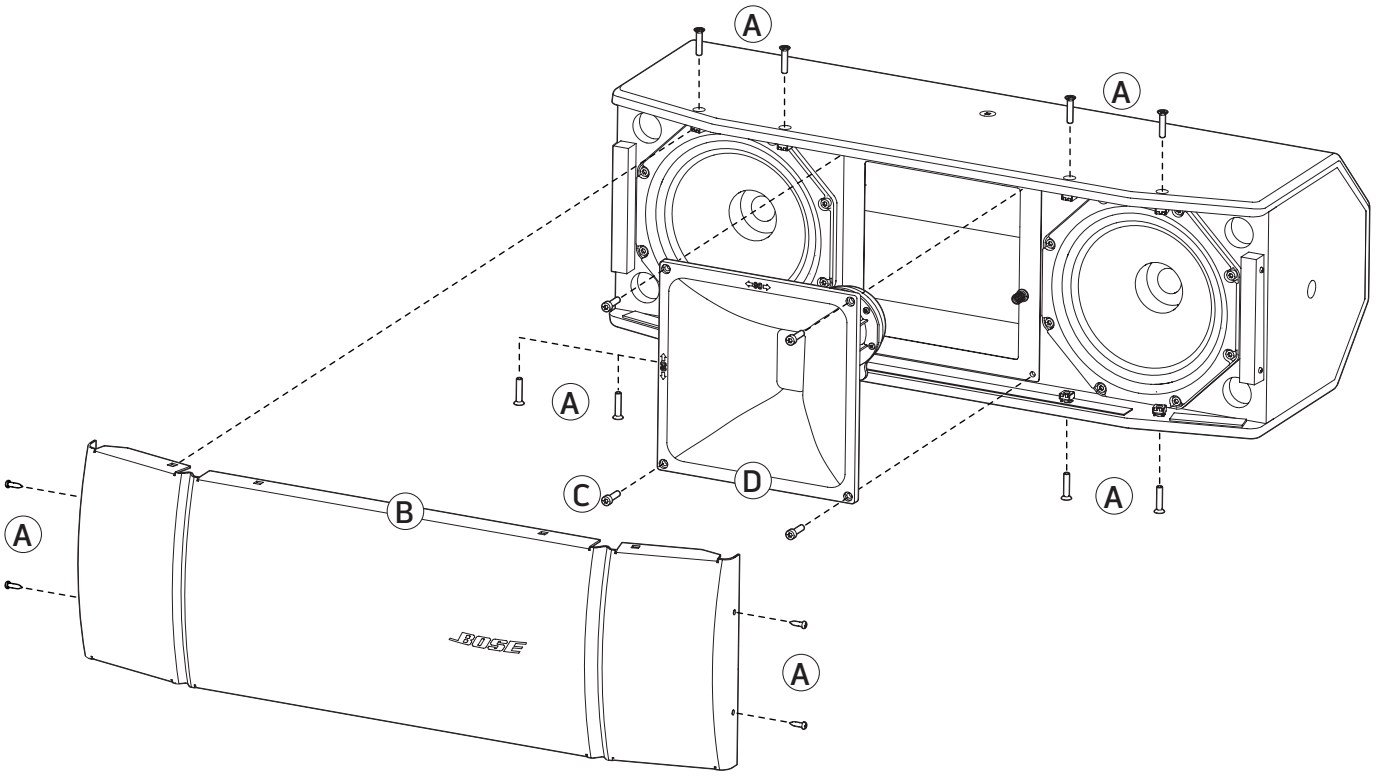
    注：ピッチ角をさらにしっかりと固定して設置するため、必要に応じて木ネジをUブラケット側面の小さな穴に挿入して、木のエンクロージャに締め込むこともできます。
11. 配線を行い、スピーカーの動作を確認します。

高域ウェーブガイドのローテーション

RMU208、RMU206、RMU108 の各スピーカー内にある高域ウェーブガイドをローテーションすることで、水平・垂直のいずれに設置した場合でも望み通りのカバレッジパターンが得られます。これらのスピーカーは、工場での組み立て時には水平設置用になっています。ウェーブガイドを垂直設置用にローテーションするには、以下の手順に従います。

1. スピーカーグリルの周囲から 12 本のネジを外し、グリルをエンクロージャから取り外します。
2. ウェーブガイドを固定している 4 本のネジを外します。
3. ウェーブガイドを手前に引き出し、90°回転させたらエンクロージャ内に戻します。
4. 手順 2 で外したネジでウェーブガイドを固定します。
5. 手順 1 で外したネジでグリルを再度取り付けます。

図 8. ウェーブガイドを取り外してローテーションする



【別売アクセサリー：近日発売予定】 70V/100Vトランスキット（RMUXF40/RMUXF100）

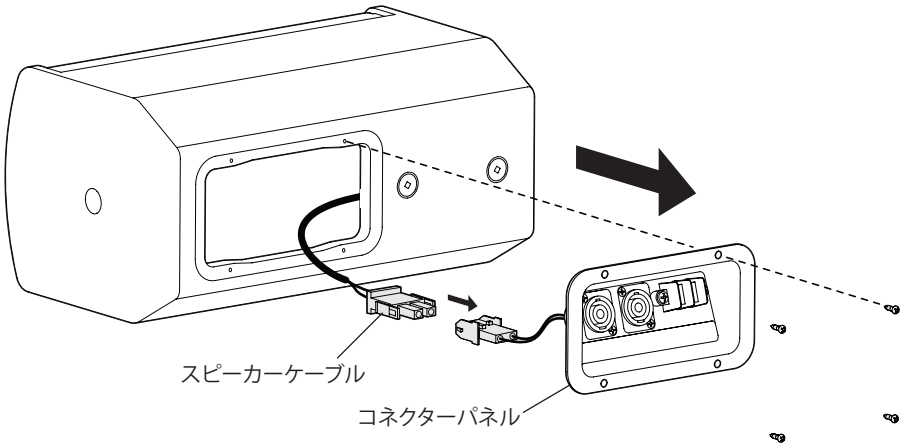
別売の 40 ワットおよび 100 ワットの 70V/100V トランスキットにより、ハイインピーダンスでの使用が可能です。両製品とも標準のコネクターパネルを取り外した全ての RoomMatch Utility モデルに適合します。

モデル	説明	製品コード
RMUXF40	40W 70V/100Vトランスキット	720562-0010
RMUXF100	100W 70V/100Vトランスキット	720367-0010

標準コネクターパネルを取り外す

1. 背面のコネクターパネルからネジを 4 本外します（図 9）。

図 9. 背面のコネクターパネルを取り外す



2. コネクターパネルをスピーカーキャビネットからそっと取り外します。

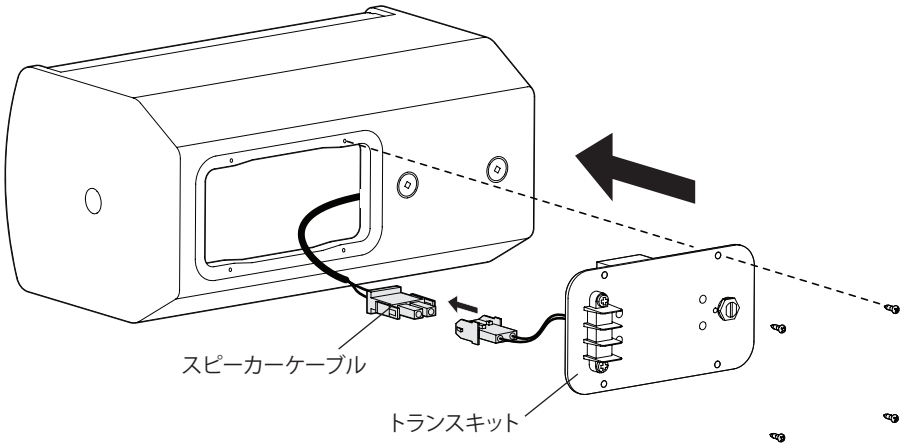
注：コネクターパネルのガスケットによりコネクターパネルが取り外しづらい場合があります。その場合は、小型のマイナスドライバー等をパネルの片方の端に差し込み、スピーカーキャビネットから持ち上げてください。

3. コネクターパネルからスピーカーケーブルを外します。

トランスキットを取り付ける

1. トランスキットのケーブルをスピーカーケーブルに接続します（図 10）。

図 10. スピーカーキャビネットにトランスキットを取り付ける



2. トランスキットをスピーカーキャビネットに取り付け、4 本のネジで固定します。

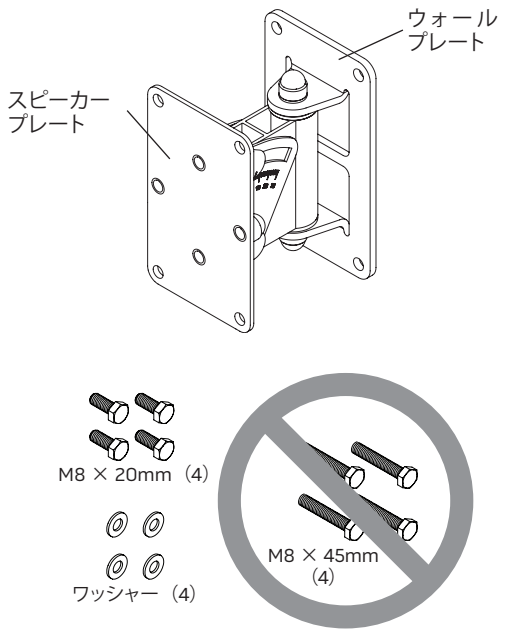
【別売アクセサリー：近日発売予定】 RMUパン&チルトブラケット（RMUBRKT1 ）

RMUBRKT1 パン & チルトブラケット（図 11）は、水平・垂直の振り角をそれぞれ調整可能な壁付けブラケットで、ボーズから購入できます。このブラケットは、スピーカーのリアパネルにある埋め込みナットに取り付けられます。

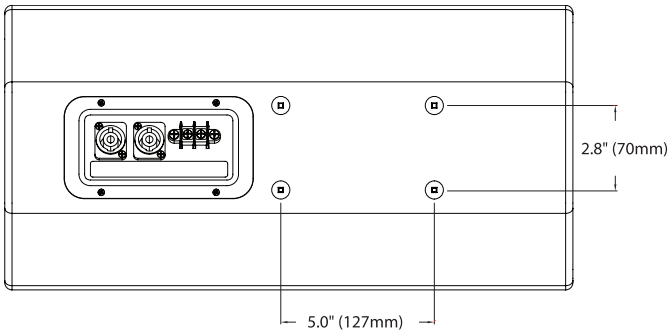
注意： 2種類の長さのM8なべネジが付属しますが、M8×20mmネジのみを使用して、ブラケットをRMUスピーカーに取り付けます。M8×45mmネジはRMUスピーカーには使用しません。

図 11. パン&チルトブラケットとスピーカー取り付けインサートの使用箇所

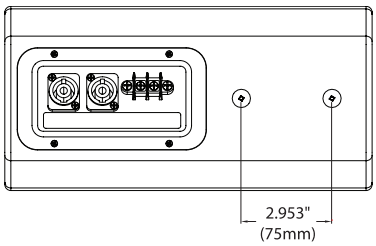
RMUBRKT1 パン & チルトブラケット



RMU208/RMU206/RMU108 の取り付けインサート

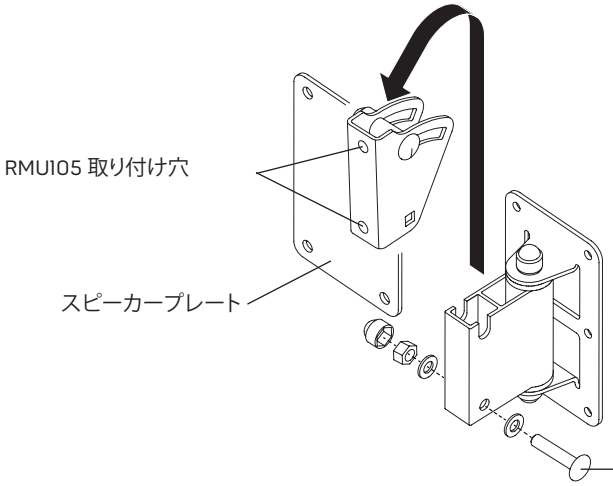


RMU105 の取り付けインサート



RMUBRKT1 パン＆チルトブラケットを使った RMU スピーカーの取り付け：

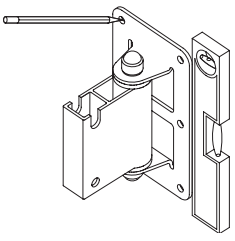
1. ブラケット下部のキャリッジボルトを外し、ブラケットを前部と後部に分離します。



注：

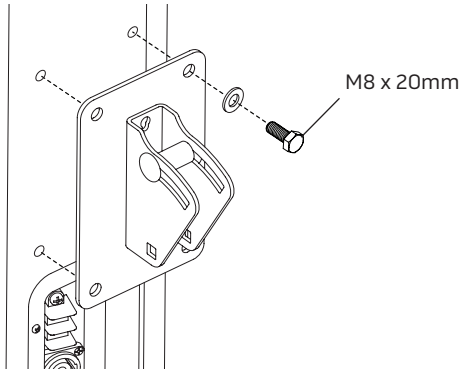
- RMU208、RMU206、または RMU108 を水平にマウントするには、スピーカープレートを取り外し、90 度回転させた後に再度取り付けます。
- RMU105 をマウントするには、スピーカープレートを取り外し、スピーカープレートのマウント穴 2 つに RMU105 をマウントします。

2. ブラケットを壁に取り付けます。壁ブラケットの説明書に従ってください。

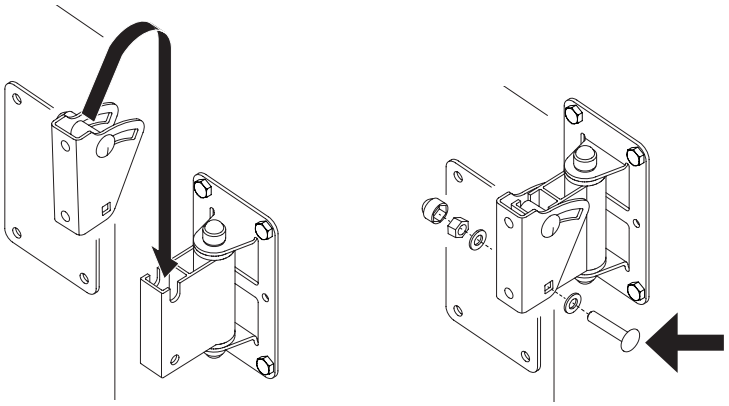


注意： 各地域の建築に関する規則や要件に適合する位置および設置方法をお選びください。設置面およびスピーカー取り付け方法が、構造的にスピーカーの荷重を支持可能であることを確認してください。設置面とブラケットに、システムの質量の 10 倍以上の強度があることを目安にします。

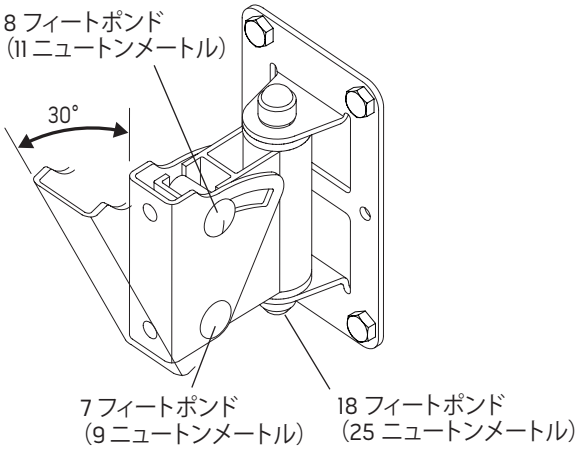
3. 同梱の T3 スクエアドライブを使用して、スピーカーのリアパネルからプラスチック製のインサートを取り外します。次に、同梱の M8 × 20mm ネジでブラケットをスピーカーに取り付けます。M8 x 45mm ネジは使用しないでください。



4. 壁に設置した片側のブラケットにスピーカーを取り付け、前の手順で外しておいた下部のキャリッジボルトで組み付けます。



5. 規定の締め付けトルクで水平・垂直の振り角を調整します。



RMU108スピーカーをスピーカースタンドに立てて使用する

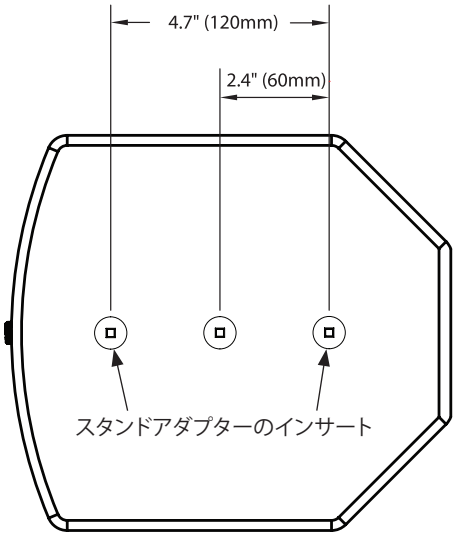
RMU108 は RMU スピーカーで唯一、業界標準のスタンド設置アダプター用として片側 2 つの M8 埋め込みナットを装備しています。これにより、RMU108 を一般的なスピーカースタンドに垂直に設置できます。

1. T3 スクエアドライブ（同梱）を使用して、RMU108 スピーカーのエンドパネルから 2 つのプラスチック製インサートを取り外します。

注：アダプターをしっかりとはめ込むには、中央のインサートの取り外しが必要な場合があります。

2. M8 ネジを使用してスタンドアダプターをスピーカーに取り付けます。
3. スピーカーをスタンドに設置し、スタンドアダプターを締め付けます。

図 12. RMU108スピーカースタンドアダプター用埋め込みナット



EQおよびリミッター用の推奨DSP設定

	Bandpass				Limiter					
	High Pass		Low Pass		V Peak			V RMS		
Speaker	Type	Freq.	Type	Freq.	Threshold	Attack	Release	Threshold	Attack	Release
RMU208	BW24	70	BW24	20000	98.0	1.5	100.00	49.0	1000.00	2000.00
RMU206	BW24	80	BW24	20000	89.4	1.5	100.00	44.7	1000.00	2000.00
RMU108	BW24	80	BW24	20000	80.0	1.5	100.00	40.0	1000.00	2000.00
RMU105	BW24	90	BW24	20000	56.5	1.5	100.00	28.3	1000.00	2000.00

推奨パワーアンプ

ボーズ PowerMatch® コンフィギュラブルパワーアンプ（別売）を使用すれば、RoomMatch Utility スピーカーの推奨 DSP と最適なアンプ出力の設定が簡単に行えます。

ボーズ PowerMatch コンフィギュラブルパワーアンプ

モデル	チャンネル	ワット数/チャンネル8Ω	ワット数/チャンネル4Ω	総ワット数
PM8500	8	300	500	4000
PM8250	8	250	250	2000
PM4500	4	300	500	2000
PM4250	4	250	250	1000

詳細については、**pro.Bose.com** をご参照ください。

技術仕様

	RMU208	RMU206	RMU108	RMU105
システムパフォーマンス				
周波数特性（±3dB）[1]	80〜16kHz	90〜16kHz	90〜16kHz	100〜16kHz
周波数レンジ（–10dB）	70〜16kHz	80〜16kHz	80〜16kHz	90〜16kHz
指向角度（水平）	90°（ローテーション可能）	120°（ローテーション可能）	90°（ローテーション可能）	100°（ローテーション可能）
指向角度（垂直）	60°（ローテーション可能）	60°（ローテーション可能）	60°（ローテーション可能）	100°（ローテーション可能）
許容入力、ボーズライフサイクル試験[2]	300W	250W	200W	100W
許容入力、AES[3]	400W	300W	250W	150W
最大音圧レベル（peak, @1m, 計算値）[3]	128dB	123dB	123dB	118dB
ユニット構成				
低域	2×ボーズ8インチウーファー	2×ボーズ6.5インチウーファー	1×ボーズ8インチウーファー	1×ボーズ5.25インチウーファー
高域	1×ボーズEMB2コンプレッションドライバー			
インピーダンス	8Ω（オプションで70V/100Vに対応）			
物理仕様				
外形寸法（H×W×D）、インチ表記	9.3" x 27.0" x 10.5"	7.0" x 19.0" x 9.0"	9.3" x 18.5" x 10.5"	6.0" x 12.0" x 7.5"
外形寸法（H×W×D）、mm表記	236 x 686 x 267mm	178 x 483 x 229mm	236 x 470 x 267mm	152 x 305 x 191mm
質量	37lb (16.8kg)	25lb (11.3kg)	21lb (9.5kg)	12lb (5.4kg)
質量（Uブラケット付き）	43lb (19.5kg)	29lb (13.2kg)	26lb (11.8kg)	15lb (6.8kg)
カラー	ブラック、ホワイト			
使用環境	屋内			

注：

1. *周波数特性および周波数レンジは無響空間において軸上で測定しています。*
2. *Bose ライフサイクル試験は IEC268-5 に適合しています。*
3. *AES トランスデューサーテスト。*
4. *最大音圧レベルはハーフスペースにおける感度および許容入力（AES）に基づき、電力圧縮を除外して計算しています。*

仕様書、技術文献、製品保証、部品 / アクセサリー、各国のサポートのお問い合わせ先などの詳細については、**http://pro.Bose.com/** をご覧ください。

アメリカ
（米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ）
Bose Corporation
The Mountain Framingham, MA 01701 USA
Corporate Center：508-879-7330
Americas Professional Systems,
Technical Support：800-994-2673

オーストラリア
Bose Pty Limited
Unit 3/2 Holker Street Newington NSW Australia
61 2 8737 9999

ベルギー
Bose N.V. / S.A Limesweg 2, 03700 Tongeren, Belgium
012-390800

中国
Bose Electronics (Shanghai) Co. Ltd.
36F, West Gate Tower 1038 West Nanjing Road
Shanghai, P.R.C. 200041 China
86 21 6271 3800

フランス
Bose S.A.S
12 rue de Temara 78100 St. Germain-en-Laye, France
01-30616363

ドイツ
Bose GmbH
Max-Planck Strasse 36D 61381 Friedrichsdorf, Deutschland
06172-7104-0

香港
Bose Limited
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong
852 2123 9000

インド
Bose Corporation India Private Limited
4th Floor, Shriram Bhartiya Kala Kendra 1, Copernicus Marg
New Delhi 110001, India
91 11 23073825

イタリア
Bose SpA
Via Della Magliana 87600148 Rome, Italy
066-5670802

日本
〒150-0036
東京都渋谷区南平台町 16-17 渋谷ガーデンタワー 5 階
0570-080-021
www.bose.co.jp

オランダ
Bose BV
Nijverheidstraat 8 1135 GE Edam, Nederland
0299-390139

イギリス
Bose Ltd
1 Ambley Green, Gillingham Business Park
KENT ME8 0NJ Gillingham, England
0870-741-4500

その他の国のお問い合わせ先については、Web サイトをご覧ください。

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-17 渋谷ガーデンタワー5階

BOSE
Better sound through research®

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品は、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1528-B
15・1 (G)